



あいさつをする佐藤幸子前部長

3/25

人とのつながりを大切に JA女性部

第11回通常総会を開き、令和7年度は「人とのつながり」や「絆」を大切に活動し、新たな仲間づくりにつなげるとともに、地域がより元気になる活動に取り組むことを決めました。任期満了に伴う役員改選では、新たに小野寺キイ子さんを部長に選任しました。



平泉町教育委員会の吉野新平教育長⑥に手渡す那須元一専務

4/2

農業の重要性に理解求め

JAバンク副読本「農業とわたしたちの暮らし」と、岩手県農協青年組織協議会とJA岩手県信連が作成した「いわての農業のなぜ？」を一関市と平泉町の教育委員会へ贈りました。管内の小学校で、食農教育や地域農業への理解を深めるため役立てられます。



多数並ぶ農業機械に興味津々な来場者

3/21

多数の農業機械がずらり

農業機械大展示即売会をJA一関農機センターで開きました。大型農業機械や小型農機具、中古農業機械などが多数展示された他、生産資材やガス器具などの展示コーナーが設けられ、2日間ですべての農業機械や資材などを探していました。



マルバ台木の挿し木を行う生産者

4/8

挿し木で苗木不足に対応 JA果樹部会担い手班

挿し木研修会を開き、参加者でマルバ台木の挿し穂作りと挿し木を行いました。全国的なリンゴ苗木の不足を背景に、苗木生産を学ぶと開催。令和7年度は、岩手県農産物改良種苗センターなど関係機関の協力を得ながら掘り取りまでの管理に取り組みます。



慎重に議事を進めた通常総会

4/4

地域農業の発展のために JA青年部協議会

第11回通常総会を開催し、令和6年度の事業報告や収支決算、令和7年度の事業計画などが報告され、提出された議案が全て承認されました。令和7年度は、地域農業の発展に寄与するためできることを模索しながら事業活動に取り組んでいきます。



注意点を確認する参加者

定植指導会を管内3会場で開催、夏秋ピーマンの圃場準備と定植後の管理について確認しました。一関農業改良普及センターの小森貴大技師は「モグラが掘った穴がネズミの通り道になる。しっかりと穴をふさいで対策してほしい」と呼び掛けました。

4/18

定植後の注意点など確認 JAピーマン部会



ナスの生育に目を凝らす参加者

トンネルなす定植指導会を開きました。一関農業改良普及センターの岩渕瑛子主査農業普及員が、圃場準備の段階で地温確保に努めるよう指導し、JA園芸課の菊池亮職員は、量を意識したかん水など高温対策をして、日焼け果を防止するよう呼び掛けました。

4/14

地温確保と高温対策指導 JAなす生産部会



生育状況や管理作業を確認する参加者

集落営農組織加工タマネギ相互巡回を管内の農地3カ所で行い、生育状況などを確認しました。令和7年度は、14経営体が1・9畝でタマネギ栽培に取り組めます。

4/9

相互巡回で情報共有図る JA野菜部会根菜専門部



お守りを門田徹校長（右から4人目）に手渡す部員

新入学児童の交通安全を祈り、古代米のわらで手作りした亀のお守り78個を花泉小学校へ届けました。佐々木若子支部長は「交通事故に遭わないよう過ごして」と願いました。

4/2

事故なく元気に過ごして JA女性部花泉中央支部



部員から寄付を受け取る佐々木広幸センター長

グループ創立33周年を記念し、地域貢献のためにJA一関介護福祉センターもちっこへ2万円を寄付しました。寄付金は、体温計や血圧計などの購入に役立てられます。

3/21

介護福祉に役立つように JA女性部花泉中央支部ふれあい野菜市



苗箱にまいた種もみへ水やりをする児童

5年生22人は、JA青年部真滝支部の指導でひとめぼれの種まき作業に挑戦しました。種まきや水やり、覆土などの作業を丁寧に行い、田植えに向けて成長を願いました。

4/10

種まき作業にチャレンジ 滝沢小学校（一関）



ジャガイモの植え付けをする部員

第1回畑の講習会を開き、ジャガイモの植え付けとニンジン種の種まきをしました。10年目を迎える今年度は、栽培した野菜を「川の駅子ども食堂」へ提供する予定です。

4/10

子ども食堂への提供に向け JA女性部川崎中央支部



生育を確認しながら情報共有する生産者

現地指導会を大住正樹さん（藤沢）の圃場で開き、病害虫防除や薬剤散布時の注意点、整枝や誘引について確認しました。令和7年度は、20人の生産者が栽培に取り組みます。

4/9

病害虫の防除を徹底して JA野菜部会豆類専門部